

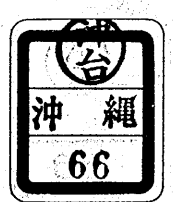
電子複写不可

昭和二十二年三月二十五日

才平四師團史実資料

才平三軍殘存整理部

防衛研修所図書館



第二十四師團史實資料

防衛研究所藏



沖台
沖繩
66

第二十四師團
 ① 師團司令部
 ② 步兵第三二聯隊
 ③ 步兵第三三聯隊
 ④ 步兵第三四聯隊
 ⑤ 步兵第三五聯隊
 ⑥ 步兵第三六聯隊
 ⑦ 搜索第三四聯隊
 ⑧ 砲兵第四聯隊
 ⑨ 工兵第二四聯隊
 ⑩ 輜重兵第二四聯隊
 ⑪ 師團通信隊
 ⑫ 師團制毒隊
 ⑬ 師團野戰病院
 ⑭ 師團防疫給水部

第二

十四

師團

實史

資料

第三十四師團史實資料

昭和二十二年三月二十五日
第三十二軍殘務整理部

第二十四师团史実資料目次

一、第二十四师履下ノ概要

二、作战前ノ状況

一、勤員下令ヨリ沖繩本島上陸迄

二、沖繩本島上陸ヨリ原駐地ヨリ島尻地帯移迄

三、島尻地帯到着ヨリ敵沖繩本島進攻初期迄

三、作战経過ノ概要

一、敵本島進攻初期ヨリ原駐地ヨリ首里地区転進迄

二、首里戦線撤退ヨリ島尻地区転進終了迄

三、島尻地区到着ヨリ作战終了迄

第二十四师团生員職員表

感状寫

第一九二四師団復元の概要

十四年十月十二日

伊藤

(一) 昭和十四年八月哈爾濱ニ於テ師団ヲ編制同年十二月東安省東安ニ移転爾
未國境警備ニ任ス

(二) 昭和十九年七月六日 動員下令七月十三日 動員告了結
師団編制中歩兵(二大隊)砲兵(二大隊)衛生隊並ニ野隊欠

(三) 各部隊ハ自七月十三日 東安及揚子江ニ出陣ス
至七月十九日

(四) 各部隊ハ自七月十九日 下関及門司ニ上陸後北九州各地ニ分散集結シ
至七月二十四日 更ニ下関及門司ニ宿營ス

(五) 第一及四野戰病院中司ニ於テ師団編制ニ化

(六) 七月二十四日 沖繩本島ニ前進ヲ命ゼラレ
八月一日 師団搭乗ノ船団中司 下関ヲ出帆ス

(七) 八月廿六日 沖繩本島ニ上陸ス

本島上陸後、師団は各地に展開し、戦況は激戦となり、
敵軍は激しく抵抗し、我軍は奮勇に戦い、
遂に本島を占領し、戦況は有利に進捗した。
師団は戦功を挙げ、各地に展開し、
戦況は激戦となり、敵軍は激しく抵抗し、
我軍は奮勇に戦い、遂に本島を占領し、
戦況は有利に進捗した。

(八) 中頭郡ニ前進整備ニ就ク(師団司令部ハ嘉手納ニ位置ス)

(九) 自八月二日、中頭地区ノ警備陣地構築ニ教育訓練ヲ実施ス

(一〇) 十月十日敵ノ初空襲ヲ受リ中頭地区中央ノ一六〇高地ニ戦斗司令所ヲ移転ス

(一一) 同年二月十一日歩兵隊ノ他編制改正実施

(一二) 才九師団ノ転進ニ伴ヒ師団ハ之ガ防衛地ニ警備ヲ維持シ承シ十月十日(日)至十二月原駐地出奔島尻地区ニ移駐ス

(一三) 十月中旬ヨリ三月末迄専ラ築城ヲ実施ス此ノ間敵機ノ偵察屢々アリ

(一四) 同年三月二十三日敵機動部隊現出艦載機ニヨリ空襲ヲ受ク

甲号戦備下令 戦斗部署ニ就ク

(一五) 四月一日敵ハ北飛行場正面ヨリ上陸ヲ開始ス

(一六) 四月十日歩兵才二十二聯隊才六十二師団長ノ指揮下ニ入り戦線ニ参加

(一七) 四月(日)師団ハ才六十二師団ノ右翼ノ線ニ進出敵ヲ攻撃スバク命令セラル

(一八) 四月二十日戦斗司令所津嘉山ニ進出各部隊 自四月二十日 同逐次前進 至四月二十九日

(一九) 四月二十九日 戦斗司令所ヲ首里城軍司令部陣地内ニ移転ス

(二〇) 五月四日總攻撃ヲ開始敵ヲ逐次前進セルモ兵員ノ損耗甚カラザルニヨリ

作戦変更攻撃前陣地ニ據リ持久態勢ニ転移ス

(二一) 自五月四日至五月中旬 夜襲ハ断シ込等ニヨリ敵ノ出血ヲ強要シツ戦斗ヲ

継続ス

(二二) 五月二十七日頃右翼方面即チ那覇方面原方面ニ敵ハ進出ニ奏効ス

(二三) 師団ハ五月二十九日島尻南部丘陵地帯ニ據リ更ニ戦畧地久ノ態勢ヲ

強化スルタメ島尻地区ニ轉進ヲ開始ス

(二四) 六月二日戦斗司令所新垣ニ前進更ニ六月甲江城ニ前進ス才一線部隊ハ

西海岸ヨリ国吉大里兵里八重瀬嶽ノ線ニ陣地ヲ占領シ陣地ノ強化ニ

努カラシメ注入

(二五) 六月十日八重瀬嶽兵里嶽中間地区ヨリ敵攻撃ヲ開始セルモ退ス

(二六) 自六月十四日 一五七高地前面ヨリ進出強力ニ攻撃シ才二十四聯隊力戦ヲ

至六月十七日 敵機ハ全田接觸攻撃ヲ加フ

(二七) 六月十七日 敵機ハ全田接觸攻撃ヲ加フ

(一)六月二十日各部隊間各師團司令部間通信聯絡杜絶し統一的
戰鬥指揮不能上り部隊各個ノ戰鬥ニ移ル

(二)六月二十四日中央地区防備ノ諸部隊敵攻撃ヲ受ク
(S.K. B.O. Hei T. 42A)

(三)六月三十日寧江城戰鬥司令所陣地内ニ於テ師團長以下幕僚部長
等自又ス

赤二十四師團史実調本且資料
赤二作戰前ノ状況

一、動員下令ヨリ沖後本島上陸迄

一師團ハ滿洲東海附近ノ警備ニ任ジアリシガ昭和十九年七月六日動員ヲ下
令セラレ同日十三日完結同十五日ヨリ逐次東海附近出發同二十四日前後下関
内同ニ集結八月一日同地出發八月五日乃至六日三亘リ那霸及渡具知曲附近
ニ上陸ヲ完了ス

二、沖後本島上陸ヨリ原駐地出發島尻地区轉移迄

一師團ハ軍ノ一翼トシテ中頭地区ヲ占領警備スルキ軍命令ニ基キ概シテ左記
要回赤一ノ如ク各部隊ヲ配置シ同地区ヲ警備ニ任ジテ築城教育訓練等ニ專
念シテ作戰準備ノ完備ヲ期ス

三、敵警備ハ良好ニ維持セラレタリ

四、陣地ハ凡テ洞窟式トシ野戰陣地ヲ併用シ將兵ガ努力ヨリ陣地ハ概シテ
敵何時進行シ来ルモ可成抵抗ニ達シタリ

五、陣地構築ノ進捗ニ從ヒ既ニ軍師團各部隊ニ於テ行方教育訓練ヲ通シ度地